

## 刊行にあたって

米政策改革においては、米づくりの本来あるべき姿の実現に向け、地域の作物戦略・販売、水田の利活用、担い手の育成等の将来方向を明確にした地域水田農業ビジョン（以下「ビジョン」という）を策定し、生産現場において生産調整のみ切り離して展開するのではなく、生産対策及び経営対策を一体的に実施することにより、地域における水田農業の構造改革を促進しているところです。

ビジョンについては、平成16年度の策定後、各地域で点検・見直しが行われ、その方法や内容に様々な工夫や特徴が見られるところであり、ビジョンに基づき産地づくり交付金の効果的な活用が図られているところです。

このたび、平成16年度から18年度までの第1ステージにおいて、全国各地域において産地づくり交付金の効果的な活用により、水田農業構造改革の効果を上げている事例を収集・整理しました。

19年度から第2ステージの取組が開始されていますが、今後はより一層、産地づくり交付金を活用して米以外の作物の産地化による水田農業の複合化を着実に進める等、産地づくり交付金の効果を意識した取組が求められます。

各地域において、本冊子の取組事例を励みとして、水田農業の構造改革に向け積極的に努力されることを期待しております。

平成19年11月

農林水産省生産局農産振興課